

事務事業評価シート

事業番号	26					
事業名	保育教材等購入費	局名	健康福祉局			
		部名	こども育成部			
事業開始年度	昭和49年度	課名	保育課			
根拠法令等	相模原市予算規則第19条	課長名	彦根啓			
事業概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者： _____） <input type="checkbox"/> 補助金（補助先： _____） <input checked="" type="checkbox"/> その他（各公立保育園で直接購入する教材購入費用として、配当しているもの）				
	目的 (何のために)	3～5歳の保育園児に対し、保育園で使用する教材を購入することにより、保護者の負担を軽減すると同時に、園児の興味・発達に即した教材を利用することで保育環境を整え、保育内容の充実を図る。				
	対象 (誰・何を対象に)	3～5歳の公立保育園に在園する園児を対象とする。				
	事業内容 (手段・手法など)	4月1日現在の園児数により教材購入費として各公立保育園に予算配当し、各保育園は保育に応じた必要な教材を園児のために直接購入している。				
事業の必要性	保護者の負担軽減と同時に、園児に応じた保育内容・保育環境の充実のために必要な事業である。					
コスト			平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
	事業費(直接経費)		21,200 千円	20,170 千円	20,076 千円	
	人件費	正規職員	従事者数	2.8 人	2.7 人	2.7 人
			概算人件費	20,342 千円	19,616 千円	19,616 千円
		嘱託職員・ 臨時職員等	従事者数	人	人	人
			概算人件費	千円	千円	千円
	人件費 合計		20,342 千円	19,616 千円	19,616 千円	
	総事業費		41,542 千円	39,786 千円	39,692 千円	
市民一人あたりの事業費		0.06 千円	0.06 千円	0.06 千円		

		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
財源内訳	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	
	受益者負担金	0千円	0千円	0千円	
	その他()	0千円	0千円	0千円	
	一般財源	21,200千円	20,170千円	20,076千円	
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)	項目			金額	
	3歳児特別教材			6,492千円	
	4歳児特別教材			6,756千円	
	5歳児特別教材			6,828千円	
千円					
活動実績1	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	教材購入実績率	%	99	100	100
単位当たりコスト1	(総事業費/活動指標)	千円	419.6	398.3	396.9
活動実績2	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
単位当たりコスト2	(総事業費/活動指標)				
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評 価で示す)	園児の興味・発達に即した教材を購入利用することで、園児の健やかな成長に結びつける。				
成果実績	成果指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	教材購入実績額	千円	21,200	20,170	20,076
特記事項 (事業の沿革等)	昭和49年度事業開始:6,000円相当の教材現物給付(5歳児対象) 昭和56年度:対象を4歳児、5歳児に拡大 平成3年度:12,000円相当の教材現物給付に増額				
事業の自己評価 (今後の事業の方 向性、課題等)	保護者の負担を軽減すると同時に、園児の興味・発達に即した教材を利用することで保育環境を整え、保育内容の充実を図るため必要な事業であるが、より効果的な助成方法の検討が必要と考える。				
評価	《評価の視点》	・ 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		・ 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
		・ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない			
	《評価の区分》	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡充			
	《評価区分の理由》 保護者の負担を軽減すると同時に、園児の興味・発達に即した教材を利用することで保育環境を整え、保育内容の充実を図るため必要な事業であるが、より効果的な助成方法の検討が必要と考えており、平成24年度中に検討し、25年度の具体化につなげたい。				
H24年度 予算への反映	H24年度予算: 1,680人×12,000円=20,160千円				
経営評価委員会 による意見	●現状維持⇒廃止 事業目的や金額の妥当性等制度全般に課題があることから廃止し、財源を待機児童対策に振り向けるなど、効果的活用を検討すべきである。				